

横浜市緑区民文化センター

平成27年度 事業計画書

指定管理者 みどりアートコミュニティ

代表団体 相鉄企業株式会社

# [ 横浜市緑区民文化センター ]

## 平成 27 年度事業計画書

### [ みどりアートコミュニティ ]

相鉄企業（株）・（株）相鉄エージェンシー・（株）清光社 共同事業体

#### 施設の概要

施設名	横浜市緑区民文化センター
所在地	横浜市緑区長津田二丁目1番3号
構造・規模	鉄筋コンクリート造・鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造地上28階、地下1階建一部4階建及び2階建のうち、一部2階建部分（地上2階、地下1階）を専有（区分所有）
敷地・延床面積	専有延床面積 2,999.51 m <sup>2</sup>
開館日	平成 25 年 10 月 5 日

#### 指定管理者

法人名	みどりアートコミュニティ 代表団体 相鉄企業株式会社
代表団体所在地	横浜市西区北幸二丁目9番14号
代表団体代表者	代表取締役 稲本 信也
代表団体設立年月日	昭和 36 年 11 月 1 日
指定期間	平成 25 年 10 月 5 日から平成 31 年 3 月 31 日まで（5年6か月間）

# 1 平成27年度の緑区民文化センター指定管理遂行にあたっての基本方針 (重点的に取り組む事項や数値目標等)

## (1) 趣旨(5か年の方針)

### ◆「はじめる・つながる・ひろがる」地域の歴史と文化を大切に

～アートで人と人をつなぐ。アートコミュニティ宣言～

緑区は、江戸時代には大山街道や八王子街道が通じていて、長津田宿など宿場町として発達した歴史と文化を持っています。

また横浜市の中でも緑被率が一番高く自然豊かで、非常に住環境がよく、横浜線4駅(鴨居・中山・十日市場・長津田)を中心に住宅地が広がっており、それぞれが特性豊かな地区を持つ区であります。

今の緑区に求められているものは、地域の更なる発展を相乗させる地域間交流です。「地域に根差した個性ある文化の創造」のために設置された緑区民文化センターの役割を踏まえ、「はじめる」「つながる」「ひろがる」の3つの基本方針を設定し、地域の歴史と文化を大切にしつつ、広く緑区民に愛される施設となるよう管理運営していきます。

### ●はじめる(地域の文化振興を担う人材を育成する拠点として)

- ・区民の文化活動、文化交流を積極的に支援し、緑区のアートの中心地として活動していきます。
- ・まだアートに触れたことのない子どもや、区内の学生の芸術活動の支援を行い、緑区の芸術活動の活性化に寄与します。

### ●つながる(地域の連携の拠点として)

- ・東日本大震災の後、公共文化施設の役割も変化を求められています。  
文化を通して、住民のコミュニティの醸成を果たす役割を担います。
- ・災害時の帰宅困難者対応など防災の一助を積極的に担い、地域の安全や安心を担う役割を果たします。

### ●ひろがる(地域の文化活動・情報発信の拠点として)

地域に多くある歴史的文化資産を活かしながら、次世代に緑区の文化を継承していく一端を担います。

## (2) 施設管理運営の5か年の基本方針

### 「第5世代」の区民文化センターを目指します

#### ●お客様の受け取り価値を重視します。

- ・区民に使っていただくための仕組みづくり、動機づくりを行っていきます。

#### ●地域のインキュベーター機能としてアーティストと区民との間に入り、地域文化をプロデュースします。

- ・鑑賞者の存在により表現者を育てることができます。地域の表現者を発掘育成していきます。
- ・表現する機会を求めている方々を積極的に掘り起し、参加機会の創出を提供します。

- 地域の歴史とともに発展してきたアートを掘り起し再発見します。
  - ・地域の芸能・文化（生活風習や歴史）、古典芸能へ触れる機会を創出します。
- 地域の歴史と文化を次世代や流入世代に継承します。
  - ・地域が築き上げてきた「地域文化」や「歴史」を、次世代及び流入世代に触れる機会を提供し、継承の一助を図ります。
- 社会的包括（ソーシャル・インクルージョン）機能をもたせます。
  - ・一過性ではなく、継続性を大切にし、誰でもアートに触れられる機会を提供していきます。

「区民満足度5カ年プラン」の策定

開館から平成30年度にかけて、区民からお預かりしている税金を無駄なく効果的に活用するため、施策展開の手法や事業執行プロセスのあり方などにも踏み込んで、次のような取り組みを推進し地域に最大限の貢献を行います。

年度と視点		概要
26	区民ニーズが第一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民ニーズを重要視し、区民との相互理解を深めながら自主事業の選別を行う。</li> <li>・事業の取捨選択の段階から積極的に区民参画を求め、区民第一の視点を徹底する。</li> <li>・地域文化人・文化団体との長期的・継続的な協力を築き、利用率の向上を図る。</li> </ul>
27	地域協働の推進・事業仕分け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者が直接担う事業と、地域の団体を創設に寄与し引き継ぐ事業の仕分けを行い、区民文化センターで活動する団体を増やす。</li> <li>・支援事業の形態を推進し、地域の団体が主体的に取り組んでいただいている事業を支援、最もふさわしい事業のあり方について仕分けを徹底し、区民と力を合わせた形で効果的な事業展開を図る。</li> <li>・上記の行動指針によりを自主事業費用の適正化を図る。</li> </ul>
28	業務プロセスの徹底した簡素化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中的な事業実施により、同じ投資額でより大きな事業効果を上げるなど、指定管理料の有効活用の観点から業務プロセスの徹底した簡素化に取り組む。</li> <li>・2年目で達成したことを基準に利用料金の増加と自主事業費用の適正化を図る。</li> </ul>
29	人材強化と育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員一人ひとりの強みを伸ばし、各々の職員の力を引き出すことに重点を置き、高度化・複雑化する区民ニーズに対応できる専門性の高い職員の育成と、総合力を有する職員の育成を図る。</li> <li>・協働型自主事業の展開の中で、共通の課題を持つ多くの区民とふれあうことにより、職員の資質向上を図る。</li> <li>・3年間の経験に基づいた本格的なマルチジョブ体制に移行し、人件費の圧縮を図る。</li> </ul>
30	持続的・安定的サービスの供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料金収入も安定的し、利用者との友好的関係が構築できる。</li> <li>・収入も安定し、適切な自主事業の内容と適正な費用で、施設の価値を最大限に発揮。</li> <li>・自主事業費の柔軟な運用を図りながら6年以降の目標を明確に定めて、より区民サービス向上の手法と継続的なサービス供給の視点を持つ。</li> </ul>

### (3) 平成 27 年度の位置づけ

平成 27 年度は「区民満足度 5 年プラン」の 2 年目であり、「地域協働の推進と事業仕訳」の視点から各施策の展開を図り、更なるサービスの向上を目指します。

昨年度に引き続き、区民ニーズを重要視し、相互理解を深め、館の運営、自主事業、広報の展開に活かしていきます。開館以来蓄積してきたアンケートや、来館者、利用者、地域の方のご意見などを踏まえて、館の運営並びに事業の取捨選択に活かしていきます。

また、指定管理者が直接担う事業と、地域の文化団体等に寄与し引き継ぐ事業の仕分けを行い、区民文化センターで活動する団体を増やしていきます。また、支援事業の形態を推進し、地域の団体が主体的に取り組んでいただいている事業を支え、最もふさわしい事業のあり方について仕分けを徹底し、区民と力を合わせた形で効果的な事業展開を図ります。それに基づいて、自主事業費用の適正化を図っていきます。

### (4) 平成 27 年度の重点項目

#### ①地域文化の拠点として区民に開かれ、誰もが気軽に利用できる施設運営

開館して 1 年半、稼働率は徐々に上がっています。しかし、区内全域での認知度をもっと上げるために、出前コンサートや広報活動をより効果的に行い、地域文化の拠点として区民に開かれ、区内の文化芸術団体、サークルをはじめ、広く区民に、区民文化センターは自分たちのための施設であるという評価を得ます。

#### ②地域の文化振興を担う人材の育成

引き続き、地域の文化振興を担う人材の育成、活用を図ります。登録アーティストの活用、企画講座、舞台講座の実施、区内団体、サークルへの協力・支援を通じて次年度へつなげます。また、ワークショップ参加者からサークル結成へと自立化を促し、サポートを行います。

#### ③地域住民、学校、商店街等との連携による地域の更なる活性化を目指します

引き続き、地域住民、学校、商店街等との連携を図り、既存事業、新規事業を含めて具体的な協力事業、支援事業等の立ち上げを計画します。

地域の更なる活性化に貢献できるようアートによる新たなコミュニティの創出を目指して、3 周年企画を進めていきます。

(5) 数値目標等

項目	内容・数値目標	数値目標
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成 27 年度の総利用者数で周知度を測りません。</li> <li>• ホームページや SNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス）による情報発信、見やすさを重視した施設パンフレットの作成・配布、月 1 回発行の情報紙の発行など、施設の周知や区民に情報を提供し、利用機会の創出を図ります。</li> <li>• SNS では、Twitter、ブログ、Facebook を目的によって使い分け、多数の方に情報をお届けできるように図ります。</li> <li>• 区内の各地区センターやケアプラザ、幼稚園、保育園などのご協力をいただき、みどりアートパークの出前公演を行います。緑区全域を対象として、区民文化センターに足を運べない方にもアートを届けて、ひいてはみどりアートパークの周知につなげます。</li> <li>• 利用文化団体・サークルの同意の上で、データベースへの登録をお願いし、区内の文化団体の把握に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 総利用者数 9 万人。</li> <li>• 月 1 回の情報紙は部数 2,000 部を発行。区内公共施設 36 箇所及び、駅、商店など、配布場所を 10 箇所以上増加。</li> <li>• Twitter のフォロワー数を前年度より 100 人増加。</li> <li>• 出前公演 年 4 回予定。 参加者数 合計 200 人</li> <li>• 登録団体数 10 団体増加。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 区内及び横浜市北部の高等学校と連携して、高校生のアート活動を支援します。</li> <li>• 緑区内の小学校・中学校の催物を支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 区内高校と共催事業 年 1 回。</li> <li>• 緑区小学校児童音楽会</li> <li>• 横浜市北部中学校演劇研究部会創作劇発表会</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>•人材育成を目的としたワークショップやトークセッションを行い、次年度以降の区民参画イベントにつなげていきます。</li> <li>•座学だけでなく、参加者が一緒に考えることができるトークセッション形式や、ホール舞台を使った体験形式を取り入れ、より効果的な人材育成を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•区民のための企画講座 年3回 参加者数 各20人</li> <li>•区民のための舞台講座 年3回 参加者数 各20人</li> <li>•「街とアートの関わり方」を切り口に「理想の区民文化センターとは」を区民とともに考えるトークセッション 年2回 参加者数各20人</li> <li>•中学生・高校生のための演劇WS 夏休み4日間・冬休み2日間 目標参加者数 計20人</li> <li>•運営ボランティア募集と活用 参加者数 10人</li> <li>•区民企画委員（アートUPくらぶ）の募集 参加者数 10人</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>•区内ですでに活動されている文化団体や区内諸施設、商店街等と連携していきます。また商店街主催のイベントにも参加するなど、顔の見える関係づくりを引き続き続けていきます。また、定期的に会合や交流会を行い、共にアートによるまちづくりの課題や区民のニーズを把握・共有しつつ、従来の活動の支援のほか、新規のアートイベントの企画を一緒に立ち上げます。</li> <li>•緑区民音楽祭実行委員会による新進アーティストオーディションを共催。 合格者の登録認定アーティスト登録を図り、ロビーコンサートやワンコインコンサート、出前コンサート等にご参加頂き、発表の場を提供します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•各自治会連合会の定例会や催物に積極的に出席し、引き続き連携を図っていきます。</li> <li>•地元商店街のイベントに協力し、協力体制を築きます（年1回）</li> <li>•避難訓練コンサートに、近隣の方を積極的に招待します。</li> <li>•各自治会や商店街に、自主事業チラシの設置を依頼します。また自主事業のチケットを提供し、招待者を募集することにより、施設の認知度アップを引き続き継続します。</li> <li>•区内団体や区内施設と協働で自主事業を行います。（年2回）</li> <li>•来年度の開館3周年イベントのための企画準備を行います。</li> <li>•登録認定アーティスト制度を整備、今年度は5名予定。</li> </ul>

## 2 平成 27 年度の文化事業の方針

(重点的に取り組む事項や数値目標等)

### (1) 趣旨

平成 27 年度のテーマは「連携」。

今年度は、活動の基礎を作る第一段階の最終年となります。

開館年より実施してきた事業の継続をしつつ、現状に即した取捨選択を行い、第二段階（平成 28 年度からの三年間）へと繋げていきます。

区民とみどりアートパーク、また区内の各施設との結びつきをより強固なものにしていくために、継続事業の更なる展開や、新しい事業にも取り組み始めます。

- ・ 緑区民文化センターを知っていただく事業は継続して行います。
- ・ 地元の歴史と文化にふれる事業も継続します。また、子どもが歴史や地元の文化にふれる機会を作ります。
- ・ 子ども向けの演劇・コンサート、赤ちゃんのためのはじめての音楽会も継続して実施します。
- ・ 各種のワークショップ型事業も継続して行い、人材育成も進めます。
- ・ 各地区へのアウトリーチ事業を継続して行います。
- ・ 高校生ギャラリーなど区内の高校と連携した事業を継続します。大学への連携を図ります。
- ・ 区内の小学校、中学校の催物を支援します。
- ・ 区民参加のゴスペルのワークショップを継続し、発表の場を設けるとともに、次へのステップを図ります。

### (2) 事業の方針

#### ●交流

区民文化センターは文化の交流拠点として、地域の学校、施設、商店街、団体と連携し、多世代・多文化、歴史的な地域文化・新しい地域文化、文化活動団体の交流、あるいは異なるジャンルのアートの交流を図り、アートによる地域コミュニティの再生と創造に寄与します。

#### ●育成

学校をはじめ、区内の施設や団体と連携して、子どもたちや障がい者、高齢者の方、在住外国人の方など様々な方が芸術文化に触れる機会を提供し、鑑賞者の育成を図るとともに、付随して多様な体験型ワークショップを実施し、創造・表現活動者の育成に寄与します。

#### ●文化事業4本の柱

「交流」と「育成」を軸に、「区民参加型交流事業」「地域のコト・モノ・ヒトの発掘・支援・活用事業」「教育普及事業」「鑑賞・育成事業」という4本の柱を立てて、文化事業を進めていきます。



### (3) 重点項目

#### ① 区民参加型交流事業

- 区民参加のワークショップ事業を行います。
- 区民企画委員（アートUPくらぶ）を公募、区民の企画による三周年の催物の企画をたてていきます。
- 区民のための企画講座、区民のための舞台講座を継続します。
- 「街とアートの関わり」を考え、「理想の区民文化センターとは」を区民とともに考えるトークセッションを開催します。
- 来年度の開館3周年にむけて、区民参加イベントを企画準備します。

#### ② 地域のコト・モノ・ヒトの発掘・支援・活用事業

- 郷土の歴史・文化にふれる講座を継続開催します。また、子どもたちが郷土の歴史や文化にふれる機会を提供します。
- 昨年度の「長津田十景と長津田の風景」に続き、緑区内の風景をテーマとした写真を公募、写真展を開催します。
- 緑区の伝統芸能保存会による「緑区民俗芸能フェス」を継続開催します。

#### ③ 教育普及事業

- 区内の高校の美術部等の部活動と連携して、高校生のアート活動を支援します。
- 区内の小学校へのアウトリーチ活動を行います。
- 中学生・高校生のための演劇ワークショップを行います。

#### ④ 鑑賞・育成事業

- 子どもから大人まで気軽に鑑賞できる機会を提供します。
- 誰でも気軽に鑑賞できるようにチケット単価や曜日・時間帯を工夫して開催します。
- 子ども向けの事業をより強化して行います。
- 平日午後のコンサートを行います。
- ソーシャルインクルージョンを目的とした、聴覚障がいのある方も参加できる事業を行います。また、知的障がい者、発達障がい者と一緒に行う演劇ワークショップと、障がい者たちの発表の場としてステージでの「表現の市場」を支援します。

(4) 数値目標等

項目	内容	数値目標等
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 区民参加のワークショップ事業を継続します。 新たなサークルの芽を育てます。発表会はホールステージで行います。</li> <li>• 区民のための企画講座、区民のための舞台講座を実施します。</li> <li>• 「街とアートの関わり」を切り口にトークセッションを開催、「区民文化センターのあり方」を区民とともに考えていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ゴスペルワークショップ第3期 年2回(初心者・経験者) 参加者数 80人</li> <li>• 各年3回 参加者数 各20人</li> <li>• 年2回 参加者数 各20人</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 郷土の歴史文化にふれる講座を継続開催します。</li> <li>• 昨年度の「長津田十景と長津田の風景写真展」に引き続き、地区を変えて緑区内の風景公募写真展を開催します。</li> <li>• 「緑区民俗芸能フェス」を継続開催します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「街道ものがたり」第3期 年3回 参加者数 各60人</li> <li>• 年1回 応募者数 25人 来場者数 500人</li> <li>• 年1回 出演4団体 他ゲスト団体 来場者数 200人</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 区内の高校の美術部等の部活動と連携して、高校生のアート活動を支援します。 高校生たちに作品創作だけでなく、他者にみせるための展示方法や、効果的な照明の当て方、チラシのデザインなどを考えつつ学んでもらうことを目的とします。</li> <li>• 区内の小学校へのアウトリーチ活動を行います。 (横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業を含む)</li> <li>• 中学生・高校生のための演劇ワークショップを行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年1回 参加者数 20人</li> <li>• 年4校実施 各校参加者数 50人</li> <li>• 夏休み4日間・冬休み2日間 参加者数 計20人</li> </ul>

<p>④</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子ども向けの事業を行います。</li>   <li>• 子どもから大人まで気軽に鑑賞できる機会を提供します。</li>   <li>• 平日午後のコンサートを実施します。 ホールの貸館のない空き日に、ホール・ホワイエにて、ロビーコンサート、ワンコインコンサートを実施します。対象は近隣のリタイアされた高齢者、主婦層、小さいお子さんのいる主婦層に、気軽に施設に訪れて頂けるきっかけづくりを目的とします。</li>   <li>• ソーシャルインクルージョン機能を持たせた事業の実施途中失聴・難聴の聴覚障がいのある方も参加できるコンサートを実施します。体感音響システムを利用、手話通訳、要約筆記も交えてのコンサート。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子ども向け演劇 年1回 来場者数 180人</li> <li>• 子ども向けコンサート 年3回 来場者数 各180人</li>   <li>• 0歳児から3歳児むけのコンサート 年2回 来場者数 各60人</li>   <li>• ジャズコンサート 年2回 来場者数 各200人</li>   <li>• 寄席 年3回 来場者数 各200人</li>   <li>• 朗読コンサート 年2回 来場者数 各50人</li>   <li>• シリーズ「歌のちから」ラテン 年1回 来場者数 200人</li>   <li>• クラシックコンサート 年2回 来場者数 各200人</li> <li>• 「ロビーコンサート」 年5回 来場者数 各50人</li> <li>• 「ワンコインコンサート」 年5回 来場者数 各120人</li>   <li>• 「身体で聴こう音楽会」 年1回 来場者数 200人</li> </ul>
----------	--	--

### 3 平成 27 年度の施設運営の方針

(重点的に取り組む事項や数値目標等)

#### (1) 趣旨

横浜市緑区民文化センターでは、緑区民文化センター設置目的と緑区運営方針を踏まえ以下のように基本運営方針を設置しています。

「第5世代」の区民文化センターを目指します。

『お客様（納税者）受け取り価値が全てである。』が公立ホールの社会的使命と考える我々は、以下の通り平成 27 年度の施設運営に取り組みます。

#### (2) 重点項目・数値目標等

- ①区民に使って頂く貸館業務を重視し、仕組みや動機作りを行います。
- ②区民の自由な活動を応援できる体制を整えます
- ③指定管理者の自己満足でなく「区民満足度5か年プラン」を策定し、適正に運用を行います。
- ④施設を使って頂くことにより新しい緑区民へ「生活価値」を提供します。

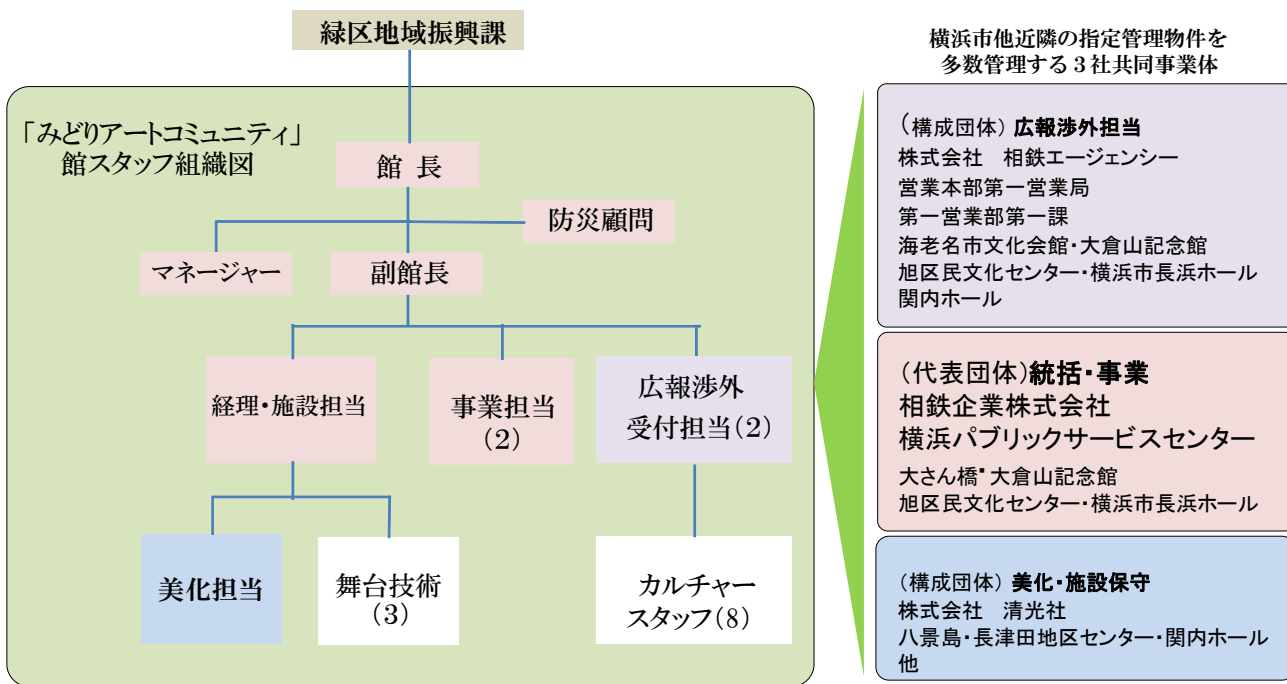
項目	取り組み内容	数値目標等
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォメーションボード、コミュニケーションボードの提供。</li> <li>・イベントスケジュールの作成。</li> <li>・ホームページ・施設パンフレットの作成。</li> <li>・ご意見箱の活用。</li> <li>・利用者会議の開催。</li> <li>・貸館利用者を対象とした利用者アンケートの作成。</li> <li>・アンケート結果に対するPDCAサイクルの実行。</li> <li>・サービス向上委員会の開催。</li> <li>・情報コーナー資料の充実化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き各種広報物、掲示物を作成し、施設の周知、情報提供を行います。</li> <li>・イベントスケジュールを月に1回作成します。また、より見易い工夫を施します。</li> <li>・リハーサル室に特化したパンフレットを作成します。</li> <li>・ご意見箱の設置場所を増やします。</li> <li>・半年に1回、アンケート月間を設け貸館利用者アンケートを行い、その結果をもとに利用者会議を行い、運営に反映します。</li> <li>・貸館利用者アンケート満足度 90%を目指します。</li> <li>・毎月、サービス向上委員会を開催。お客様の意見を速やかにスタッフ全員で共有します。</li> <li>・情報コーナーを整備し、区内、市内、県内、県外の文化情報を提供します。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸館利用者を対象としたポイントカード、自主事業鑑賞者を対象としたメンバーズ（友の会）の運営を開始します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポイントカード100人増、メンバーズ50人の入会を目指します。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用・文化活動相談窓口の設置。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設窓口だけでなく電話・FAX・メールなど相談体制を整えます。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内施設や地域の自治会と交流し、情報交換を行います。</li> <li>平成26年度から始めた「区民満足度5か年プラン」の2年目として、前年度から引き続き、地元の文化団体、区内コミュニティハウスや地区センター等と連絡を密にしながら、長期的・継続的な協力体制を築いていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成団体が運営を行う長津田地区センターをはじめ、区内施設と事業協力や広報協力等を積極的に行います。</li> <li>各自治会連合会の定例会に出席し、情報交換いたします。</li> <li>長津田商店街協同組合、中山商店街協同組合、谷津田原商栄会、鴨居商栄会、竹山団地中央商店会、緑新栄会、十日市場大通り商店会、霧が丘商店会など緑区内商店街と情報交換いたします。</li> <li>各自治会や商店街に、自主事業チラシの設置を依頼します。また自主事業のチケットを提供し、招待者を募集することにより、施設の認知度アップを目指します。</li> <li>公募モニターによるご意見を自主事業や管理運営面に反映させます。</li> <li>出前公演を区内4か所で行います。</li> <li>区内文化団体と協働した自主事業を行います。</li> <li>地元商店街のイベントに協力し、協力体制を築きます。（年1回）</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内初の文化専門施設として、施設価値の向上を行います。</li> <li>ギャラリーのお試し利用期間を設け、ギャラリーを安価に気軽に利用していただき、ギャラリーの利用促進と認知度向上を図ります。</li> <li>施設見学会を貸館利用空き日に随時実施する。</li> <li>随時、見学受付を行い施設の周知を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間目標来場者数9万人</li> <li>自主事業来場者（ワークショップ参加者も含む）8千人</li> <li>ギャラリーお試し利用の団体及び個人を5組。</li> <li>施設見学会最低2回実施。参加者目標計40名。</li> <li>随時。年間100組</li> </ul>

4 平成27年度の施設管理の方針  
 (重点的に取り組む事項や数値目標等)

(1) 趣旨

平成27年度は「施設の維持保全にかかわる5か年活動計画」の2年目として、引き続き省エネに活用できる水光熱費等のデータ集積や、施設管理運営の土台基盤となる基礎情報のうち実際に必要となるデータのみ選別して、そのデータ資料を構築いたします。



(2) 重点項目

項目	取り組み内容	数値目標等
安全で効率的な維持管理・予防保全について	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の基礎情報の把握。</li> <li>不具合箇所の早期発見、補修。</li> <li>日常点検、定期点検の実施。</li> <li>維持保全のPDCAサイクルを計画的に実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理計画に基づき定期的な施設点検を実施。</li> <li>月1回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検の実施(年1回)。</li> </ul>
快適な環境の維持管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>美観の維持。</li> <li>感染症対策。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書内の清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施します。</li> <li>年に1回8時間の清掃法定研修を行います。</li> <li>感染症対策講習を全職員が受講します。</li> </ul>

## 5 平成 27 年度の文化事業に関する計画について

### (1) 趣旨

平成 27 年度のテーマは「連携」。

今年度は、活動の基礎を作る第一段階の最終年となります。開館年より実施してきた事業の継続を行い定番事業として定着させ、更に子ども向け鑑賞事業、子育て世代向けの事業をより充実させていきます。また、区内学校や地域団体と事業協力を増やし、学校への連携への足掛かりとします。

また、今年度、現状に即した取捨選択を行い、来年度からの第二段階（平成 28 年度からの三年間）へと繋げていきます。

### (2) 具体的取組内容

目的	事業名	内容	実施 時期	実施 回数	想定人数
1. 多様な 機会の 提供	おしゃべりラテン倶楽部	シリーズ歌の力。初心者むけのラテンコンサート。	8月	1回	200人
	おしゃべりジャズ倶楽部	ジャズ初心者向けの解説付きコンサート。	6月 3月	2回	各 200人
	みどりアートパーク クラシックシリーズ	初心者向けのクラシックコンサート。	10月 2月	2回	各 200人
	MAP 寄席	日本の伝統話芸を楽しむ落語公演。	6月 8月 1月	3回	各 200人
	ロビーコンサート	ホールの利用がない平日に、ロビーにて無料コンサート。	偶数月	5回	各 50人
	ワンコインコンサート	平日午後ワンコインで楽しめるコンサート。	奇数月	5回	各 120人
	子どものための演劇 「デフパペットシアターひとみ」	ナイジェリアの絵本が原作の冒険人形劇	9月	1回	180人
	子どものためのコンサート	ファミリーで楽しめる、初めてのコンサート。	8月・12月 ・3月	3回	各 180人
	赤ちゃんとはじめての音楽会	0歳児から3歳児までを対象としたコンサート。	5月 10月	2回	各 60人
	音嘶の会	おとぎ話の朗読とフルートのデュエット。	11月	2回	各 50人
	身体で聴こう音楽会	聴覚障がい者も楽しめる体感	11月	1回	200人

		音響システムを使用したコンサート。			
2. 人材育成・活用に関する取組	区民企画委員会 (アートUPくらぶ)	公募で参加した区民による企画委員会。	月1回	12回	10人
	「理想の区民文化センターとは」を区民と考えるトークセッション	ゲストにみどりアートパーク所縁の方、また他区の区民文化センター館長などを招き、毎回テーマを変えるが連続性を持たせる。座学だけでなく参加者が一緒に考える事ができるトークセッション形式。	調整中	2回	各20人
	小学校へのアウトリーチ (横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業を含む)	区内の小学校で音楽(邦楽や洋楽)のコンサートあるいは体験型ワークショップを行う。	調整中	4回	各50人
	演劇ワークショップ 「舞台をつくろう!」第3回	中高生を対象とした演劇の創作の楽しさ・魅力を体験するワークショップ。	8月・1月	2回 (4日間 ・2日間)	計20人
	区民のための企画講座	区民のための企画講座 今年度は実戦講座。	調整中	3回	各10人
	区民のための舞台講座	区民のための舞台講座 今年度は「照明について」。	調整中	3回	各10人
	認定アーティストディジョン ※共催事業	みどりアートパークの認定アーティストをオーディションで選考。今年度は緑区民音楽祭と共催。	3月	1回	5人
	高校生ギャラリー ※共催事業	白山高校美術部による卒業作品展。	3月	1回 (5日間)	参加20人 来場200人
3. 地域活動の支	避難訓練コンサート	ホールでコンサート公演中に防災訓練を体験する。	9月	1回	250人
	利用者会議・団体交流会	区内の各団体の相互交流を目的とした交流会。利用者会議後に開催。	9月 3月	2回	各5団体



	ピアノ体験	緑区民文化センターを知って頂くために、ホールのピアノを体験する。	調整中	4回	各 10人
	みどり区民アート展	区民公募による絵画展覧会。	10～ 11月	1回	応募 90人 来場 550人
	オペラシアターこんにゃく座 歌のワークショップ ※共催事業	オペラシアターこんにゃく座 による歌のワークショップ。	6～7月	2回	計 40人
	オペラシアターこんにゃく座 ※共催事業	日本語の創作オペラの上演。	7月	1回	200人
	横浜市北部中学校演劇連盟創 作劇大会 ※共催事業	横浜市北部中学校の演劇大 会。	12月	4回	各50人
	緑区小学校音楽部会発表会 ※共催事業	緑区内小学校の音楽会。	11月	3回	各 240人
	NPO法人ふかふか みんなでワークショップ ※共催事業	障がいのある人たちと公募し た地域の人による芝居のワー クショップ。	9～2月	1回 (全6日)	計 40人
	表現の市場 ※共催事業	ワークショップの仕上げの発 表会。	2月	1回	200人
4. ア ー ト に よ る	大山街道プロジェクト3期目	郷土の歴史や文化を知ること により、地域への理解と愛着を 醸成します。	12～3月	3回	各 60人
	公募写真展	歴史ある緑区内の風景写真を 公募。収集作品の写真展を併せ て開催する。	2月	1回 (5日間)	参加 25人 来場 500人
	ゴスペルワークショップ	区民参加型合唱コンサート(=みど りの歌声コンサート)実現のための ワークショップ。初心者コースと経 験者コースの2コース制。	9月～ 11月	2回 (全4日 ・全6日)	計 80人
	ゴスペルワークショップ 発表会	ワークショップの仕上げのコ ンサート。	12月	1回	200人

	エリアコンサート	みどり区民祭りステージにてゴスペルクワイアによるコンサート。	9月	1回	50人
	みどりアートパーク 出前コンサート	区内施設、老人介護施設、商店街などに区民文化センターを知ってもらうための出前公演、ミニコンサートなど。	調整中	年4回	各 50人
	緑区民俗芸能フェス	緑区内の民俗芸能を紹介するステージ。	5月	1回	参加 4団体 ゲスト団体2団体 来場 200人
その他	広報宣伝活動	イベントスケジュールの作成 Twitter、Facebookの運営。	4月～	月1回	
	販売促進活動	チラシ、ポスターの作成。	4月～	随時	
	パンフレット製作	施設紹介。	4月～		
	ホームページ	インターネット広報。	4月～		

## 6 平成27年度の施設運営に関する計画について

(稼働率等貸し館の目標、開館時間、休館日、人員配置、勤務体制、研修計画、広報計画等)

### (1) 趣旨

- 中核となる区民文化センター運営組織は、文化施設運営の専門能力を持つ職員と区民から登用したカルチャースタッフとの協働体制を確立させ、「専門性」と「区民・地域」の力を融合させた組織構造をもって運営にあたります。
- 各担当職員は、文化事業の企画実施・施設運営・施設管理・舞台技術等幅広い知識と経験・実績を持つ人材を配置し、施設の基盤づくりに尽力します。
- 地域の文化団体・市民団体・商店街・地元企業・学校・各関係機関等と情報交換等の協力ならびに共創関係を築き、信頼関係を深め地域との連携体制を確立します。

### (2) 具体的取組内容(実施事項)

#### ①稼働率等貸し館の目標

- 直前割引等の周知を行い、ホール目標稼働率80パーセント(日にち単位)を目指します。
- 平成27年度の総利用者数は9万人を目指します。
- 空き状況をリアルタイムで掲示を行い、準備割引や直前割引を周知します。

#### ②開館時間

- 開館時間は朝9時～夜22時までといたします。

#### ③休館日

- 開館日数 358日
- 休館日 8日(年末年始 12月29日～1月3日、年2回施設点検日)

#### ④人員配置

カルチャースタッフのリーダーとして社員を1人配置し、スムーズな貸館利用を促進します。

- 運営スタッフ(館長1名、副館長1名、マネージャー1名、防災顧問1名、職員5名)
- 舞台技術(職員3名)
- 受付スタッフ(地元雇用の8名)
- 美化担当(3名)

#### ⑤勤務体制

- 「早番」「遅番」の2交代制と、「朝番」「昼番」「夜番」の3交代制を組み合わせることにより、全体を通して一定のサービス水準を確保します。

↓一日のシフト例

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
			○8:30~17:00、■14:00~22:30													
スタッフ			○館長													
			○防災顧問													
			○職員													
								■職員								
								■副館長								
舞台技術			○舞台技術													
								■舞台技術								
			①8:50~13:00、②12:30~16:30&13:00~17:00、③16:30~20:30&17:00~21:00													
カルチャー			○職員(カルチャースタッフリーダー)													
			①													
					②											
								③								
										③						
担当																

⑥研修計画

区民文化センターの運営には、「高いスタッフ力」が求められます。教育については、OJT、OffJT、そして自己啓発による3つの形態があり、これを有効に組み合わせ、スタッフ力の向上を図ります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
OJT研修			全体研修						全体研修			
			個人情報保護研修						個人情報保護研修			
						CSR研修						CSR研修
OffJT研修					アートマネジメント研修							
							接客研修					
				普通救急救命講習								
				人権研修						インスペクション研修		
		マナー研修						マナー研修				

・その他…清掃研修(年8時間)、サービス介助士(平成25年度に取得済み)。

※マナー研修・普通救急救命講習は新着任職員に実施します。

⑦広報計画

本年度は戦略的(持続的)な広報体制を構築するとともに、“伝わる広報(理解・共感)”を目的に、「連携」を目指します。引き続き緑区内に新しい区民文化センターを知っていただく広報を行い、更に事業対象となる顧客層を把握し、一番適切な手段で広報活動を行います。

内容	部数・規模	対象				実施開始時期
		館内	緑区	横浜市	市外	
イベントスケジュール(広報誌)		○	○	○		4月～(月1)
印刷物(チラシ・ポスター)	3000部	○	○	○		4月～(随時)
広報みどり	緑区全戸	○	○			4月～(月1)
プレスリリース(自主事業)	横浜経済記者 クラブ等	○	○	○	○	随時
ホームページ		○	○	○	○	4月～
SNS(Twitter、Face Book)		○	○	○	○	4月～
アウトリーチ	ケアプラザ等	○	○			随時(年4回)
広告誌(地域情報誌、新聞等)		○	○	○	○	随時

## 7 平成27年度の施設管理に関する計画について

### (1) 趣旨

施設の基礎情報を把握し、迅速な対応で快適な環境を提供し、安全を確保します。

「施設の維持保全にかかわる5か年活動計画」を以下の通り策定します。平成27年度は「施設の維持保全にかかわる5か年活動計画」の2年目として、引き続き省エネに活用できる水光熱費等のデータ集積や、施設管理運営の土台基盤となる基礎情報のうち実際に必要となるデータのみ選別して、そのデータ資料を構築いたします。

期間と視点		概要
1年目	施設の基礎情報の把握	最初に行う現状把握は極めて重要であり、最も手間と時間がかかるものです。運営管理の運用実態を含め広く全体に問題点を把握できるよう、可能な限り広範に調査します。また、この段階の維持保全にかかわるコストの把握に関しては、おおよその長期維持保全の方針をたてるために、概算レベルのコストで全体を把握します。
2年目	施設データの一元化	施設データは、利活用することが目的であるため、詳細なデータを集めるよりは、実際に必要なデータを絞り込むことが大切です。情報の一元化を行い、運営リスクを最大限考慮した施設マネジメントの土台を構築します。
3年目	予防保全、予測保全対応機器リストの作成	計画的に適切な処理を行うことにより、故障や停止、事故の発生や休館などを未然に防ぎ（リスクの評価）、コストの平準化や利用者サービスの低下を最低限に抑えるための機器の抽出及び修繕費用（部品交換を含め）をまとめます（おもに緑区が修繕費の支出を伴うもの）。
4年目	「事後保全対応機器リスト」の作成	異常が発生しても機器の故障などの影響により大きなリスクを伴わないもの、部品の手配や交換が容易な機器を選別します。この時点で簡易的な長中期保全実施計画（一部単年度実施計画）を策定します。
5年目	「中長期保全実施計画」の作成	計画を作成し、実践していく段階にします。今後2～10年以上にわたる施設の標準的な保全の周期に基づいて計画します。しかし、施設の特性上リスクの大きい施設や管理組合との状況により判断して策定します。区が負担する予防保全については、費用の平準化も不可欠な要素です。特に管理組合との関係（共用施設に係るようなもの）が予測されるものについては、区及び管理組合と十分に協議したうえで計画を立案します。

### (2) 具体的取組内容（実施事項）

#### ①施設設備管理

- ・月1回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検を年1回行います。
- ・日常点検時・定期点検時において発見された不具合は、状況を蓄積しデータ化し、建物独自の傾向を把握し、不具合箇所の早期発見・早期補修を行います。
- ・施設管理計画表（別添）に基づき定期的な施設点検を実施します。
- ・維持保全のPDCAサイクルを計画的に実施します。自社点検が出来るものと、専門性の高いメーカー点検を必要とする設備を見極め、保守計画を作成し、実施します。
- ・舞台機構の維持管理、建築設備の維持管理については、区の定めた仕様に基づき、メーカーもしくは、

メーカーの推奨する保全会社に発注します。

②清掃

- 仕様書にある清掃・項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施します。
- 年に1回8時間の清掃法定研修を行います。

③省エネ

- 26年度の水光熱費データにより、27年度スケジュール管理のもと省エネチューニングを実施します。

## 8 その他の計画について

(危機管理体制、防犯・防災体制、その他緊急時体制、個人情報保護体制、ご意見、苦情及び情報公開の取り扱い、その他の法令順守体制、自己評価・実績評価等)

### (1) 趣旨

東日本大震災を踏まえ、事件・事故発生直後は、短時間に多くのことが求められることから、それに戸惑うことなく危機管理マニュアル等により初動体制を確立し、危機管理に当たることが重要であると考えます。

### (2) 具体的取組内容

#### ①危機管理体制、防犯・防災体制、その他緊急時体制

- ・横浜市全域の消防行政に深くかかわった経歴のある防災顧問を設置し、避難訓練の実施、普通救命講習を行います。
- ・管理組合や防災センター、自治会と連携することで人的な防犯、防災体制の構築を図ります。
- ・日報及び月報の作成・管理（業務記録の整備）による日常管理の充実。
- ・ホール災害の意識高揚を目的とした避難訓練コンサートを実施します。
- ・全スタッフの普通救命講習資格取得を目指します。
- ・既緑区民文化センター危機管理マニュアルの啓蒙をします。
- ・帰宅困難者対応（300人分の備蓄目標）を想定し、引き続き、受入体制を整えます。受入訓練に關しましては、緑区防災担当と実施に関して協議を行います。
- ・災害復旧用備品（安全靴、チェーンソー・発電機）を整備します
- ・休館日や開館時間外も対応可能な人材配備をします。
- ・事業継続のため、職員3日分の食糧を備蓄します。
- ・感染症対策のため、全従業員の勤務3ヵ月分のマスクと手指消毒薬を確保します。またインフルエンザ期には手指消毒液を設置します。

#### ②個人情報保護体制

- ・個人情報保護研修を全スタッフが受講し、適正に取扱います。
- ・個人情報取り扱いマニュアル、情報公開マニュアルを運用します。
- ・利用者から個人情報をいただく場合は、その目的をあらかじめ明示し、その範囲内で利用します。

#### ③ご意見、苦情及び情報公開の取り扱い

- ・館内にご意見箱を設置。また、ホームページにもご意見箱のページを作成し、利用者からのご意見、苦情を週に1回集約します。回答に関してはホームページ若しくは館内に適宜貼り出し、公表します。



#### ④その他の法令順守体制

- 平成18年度から、コンプライアンスとリスクマネジメントに加えて、環境とCS（お客さま満足）、社会貢献を新たに取り組テーマに加え、平成20年度から、「相鉄グループCSR」として取り組みを展開しています。
- 毎日の朝礼及び夕刻引継ぎ時の申し送りを行い、公の施設を運営する一員としての自覚を啓発します。

#### ⑤自己評価・実績評価等

- PDCA サイクルの推進とともに重要な件に関して随時報告出来る体制づくりに取り組めます。
- 業務記録の一元管理によるモニタリングへの対応・体制を構築します。
- 利用者アンケートの結果や利用者の声を、常に自己評価に反映させながら施設運営に取り組めます。
- 各世代で構成される、モニター（＝区文サポーターズ）を公募し、自主事業公演に招待します。ただしアンケートを必須条件とし、各世代間でのフィードバックを目的とします。
- 月2回、スタッフで構成するサービス向上委員会を開催します。

## 9 収支について

(収入確保、経費節減努力、費用対効果向上等(最大限の入場料収入の確保、企業からの協賛金・広告料収入等の獲得、利用者満足度・施設利用率の向上等))

### (1) 趣旨

区民ニーズを把握し、事業収入の確保と費用対効果向上に努めます。  
また、簡素で効率的な運営による経費節減を実施します。

### (2) 具体的取組内容(実施事項)

#### ①区民に求められている魅力ある文化事業を展開します。

- ・付加価値の高い自主事業の実施により、自主事業収入増を図ると共に、人気と評価の高い事業を積極的にを行い、収益性も向上させます。
- ・地域創造活動の支援や低料金で質の高い鑑賞事業を実施します。

#### ②お客様満足度および施設利用率の向上に努めます。

- ・Twitter 等で空き室状況をリアルタイムで開示します。
- ・休館日をできる限り少なくし、時間区分ごとに点検コマを利用し、利用率の向上に努めます。
- ・年に2回(9月・3月)に利用者会議を開催し、お客様から直接意見をうかがえる機会を設け運営に活かします。
- ・区民のニーズを把握するため、自主事業ごとにアンケートを行い、その結果を次回に活かします。

#### ③企業からの協賛金・広告料収入等の獲得に努めます。

- ・昨年度の実績を踏まえ、協賛金、広告料獲得を目指し、各種企業への協賛協力依頼や広告スペースの確保を行います。

#### ④簡素で効率的な運営を行います。

- ・運営の実績を踏まえ、職員配置の適正化等により、簡素で効率的な組織とします。また、超過勤務時間の縮減により、人件費を抑え、組織体制を恒常的に見直します。
- ・指定管理業務及び総合ビルメンテナンス業務経験を生かし、ハード(人、物)及びソフト(運用、管理方法)の両面からコストの縮減を行います。また幅広く施設を管理し積み重ねたデータから適切な管理手法を取り入れ、コスト縮減を促進する体制を整えます。また、これらに加え恒常的な改善活動、改善の原則「やめる、統合する、代替、単純化」を活用し削減を図ります。
- ・常にマルチジョブの意識を持ち、組織のスリム化を図るとともに、委託費等の削減を図ります。組織はスリム化しますが、安全・安心・快適は向上させ、利用者サービスの向上に努めます。また、備品購入についても、LCC(ライフサイクルコスト・調達～使用～保守～廃棄)を十分検討し、経費削減を徹底します。
- ・点検等は自社、直営スタッフで出来る点検と、専門性、技術、安全性を必要とする点検を見極め、委託業務を検討し、経費削減に努めます。

## 平成27年度文化事業計画書

事業種別	事業名	開催時期	開催場所	開催回数	入場・参加人員		文化事業経費				1人あたり入場・参加料		事業概要
					募集人数(人)	目標人数(人)	指定管理料充当額(千円)	入場・参加者負担額(千円)	その他(千円)	総経費(千円)	徴収の有・無	入場・参加料単価(円)	
①	おしゃべりラテン倶楽部	8月	ホール	1	300	200	295	400	0	695	有	2000	
①	おしゃべりジャズ倶楽部	6月・3月	ホール	2	300人 ×2回	400	590	800	0	1390	有	2,000	
①	みどりアートパーク クラシックシリーズ	10月・2月	ホール	2	300人 ×2回	400	630	800	0	1430	有	2,000	
①④	MAP寄席	6月・8月・1月	ホール	3	300人 ×3回	600	405	1200	0	1605	有	2,000	
②④	公募写真展	2月	ギャラリー	1	募集25人 来場500人	募集25人 来場500人	580	0	0	580	無	0	
④	エリアコンサート	9月	区民まつり	1	50	50	150	0	0	150	無	0	
①②④	ロビーコンサート	偶数月	ホワイエ	5	50人 ×5回	250	365	0	0	365	無	0	
①②④	ワンコインコンサート	奇数月	ホール	5	120人 ×5回	600	140	300	0	440	有	500	
②④	大山街道プロジェクト3期目	12～3月	リハーサル室	3	60人 ×3回	180	168	90	0	258	有	500	
①②④	小学校へのアウトリーチ	調整中	調整中	4	50人 ×4回	200	500	180	120	680	無	0	※内3回プラットフォーム
①	子どものための演劇「デフパペットシアターひとみ」	9月	ホール	1	300人	180	480	225	0	705	有	1,250	
①	子どものためのコンサート	8月・12月・3月	ホール	3	300 ×3回	540	1410	405	0	1815	有	750	
①	赤ちゃんとはじめての音楽会	5月・10月	リハーサル室	2	60人 ×2回	120	410	60	0	470	有	500	
②③	高校生ギャラリー	3月	ギャラリー	1	参加20人 来場200人	参加20人 来場200人	45	0	0	45	無	0	共催事業
②	認定アーティストオーディション	3月	ホール	1	未定	5人	0	0	0	0	有	0	共催事業
②④	ゴスペルワークショップ	9月～11月	リハーサル室	2	80	80	480	400	0	880	有	5,000	
②④	ゴスペルワークショップ発表会	12月	ホール	1	300	200	320	0	0	320	無	0	
②	演劇ワークショップ「舞台をつくらう!」第3回	8月・1月	ホール	2	20人 ×2回	20	880	10	0	890	有	500	

事業種別	事業名	開催時期	開催場所	開催回数	入場・参加人員		文化事業経費				1人あたり入場・参加料		事業概要
					募集人数(人)	目標人数(人)	指定管理料充当額(千円)	入場・参加者負担額(千円)	その他(千円)	総経費(千円)	徴収の有・無	入場・参加料単価(円)	
②④	「理想の区民文化センターとは」を区民と考えるトークセッション	調整中	リハーサル室	2	20人×2回	40	114	0	0	114	無	0	
②	区民のための企画講座	調整中	会議室	3	20人×3回	30	201	0	0	201	無	0	
②	区民のための舞台講座	調整中	ホール	3	20人×3回	30	204	0	0	204	無	0	
②	運営ボランティア	4月～3月	全館	2	10人	10	25	0	0	25	無	0	
②	区民企画委員会(アートUPくらぶ)	月1回	会議室	12	10	10	80	0	0	80	無	0	
②③④	みどりアートパーク出前コンサート	調整中	ケアプラザ等	4	50人×4回	200	120	0	0	120	無	0	
②③	ピアノ体験	調整中	ホール	4	10人×4回	40	-40	60	0	20	有	1,500	
③	利用者会議・交流会	9月・3月	会議室	2	5団体×2回	10団体	20	0	0	20	無	0	
①	身体で聴こう音楽会	11月	ホール	1	300	200	770	200	0	970	有	1,000	
②④	みどりアートパーク民俗芸能フェス	5月	ホール	1	参加4団体 来場300人	参加4団体 来場200人	374	0	0	374	無	0	
③	避難訓練コンサート	9月	ホール	1	300	250	45	0	0	45	無	0	
①	音嘶の会	11月	ホワイエ	2	50人×2回	100	185	100	0	285	有	1,000	
②③④	みどり区民アート展	10～11月	ギャラリー	1	参加100人 来場550人	参加90人 来場550人	255	45	0	300	有	500	
③	こんにやく座 歌のワークショップ	6～7月	リハーサル室	2	20人×2回	40	0	0	0	0	無	0	共催事業
③	オペラシアターこんにやく座	7月	ホール	1	300	200	0	0	0	0	無	0	共催事業
③	横浜市北部中学校演劇連盟創作劇大会	12月	ホール	4	50人×4回	200	0	0	0	0	無	0	共催事業
③	緑区小学校音楽部会発表会	11月	ホール	3	300人×3回	720	0	0	0	0	無	0	共催事業
③	NPO法人ぶかぶか みんなでワークショップ	9～2月	リハーサル室	1	40	40	0	0	0	0	無	0	共催事業
③	表現の市場	2月	ホール	1	300	200	0	0	0	0	無	0	共催事業
合計						6130	9906	4875	120	14781			
合計					90	12460	10201	5275	120	15476			

・文化事業に要した総経費は、指定管理料から充当した額と入場・参加者負担額等の合計となります。

・事業種別欄に、下記①～④に当てはまるものがあれば記入してください。

①多様な機会の提供 ②人材育成・活用に関する取組 ③地域活動の支援等に関する取組 ④アートによるまちづくり

・必要に応じて、行を追加していただいて構いません。

平成27年度緑区民文化センター管理計画表

項目	業務	内容	再委託会社	年回数	実施月	平成27年												平成28年		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
電気・機械設備	設備総合巡視点検		清光社	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	電気設備点検	自家用電気工作物 保安管理	関東電気保安協会	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	自家用発電機設備点検		東洋産業	2	6・12月			○						○						
	中央監視装置点検		東テク	1	4月	○														
	空調設備点検		東テク	2	6・12月			○						○						
	空調自動制御点検		住機	2	4・12月	○								○						
	熱源機器等点検		テクノ矢崎	2	4・11月	○								○						
衛生管理	空気環境測定		清光社	6	奇数月		○		○		○		○		○		○			
	害虫駆除		ブラザー工業	2	8・2月					○						○				
	汚水槽清掃		協同清美	2	6・12月			○						○						
	湧水槽清掃		協同清美	2	6・12月			○						○						
	レジオネラ菌分析		アムコン	2	5・7月		○		○											
建物等	昇降機点検(乗用)	6・9・12・3月は点検 他はリモート点検	三菱電機ビルテクノサービス	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	昇降機点検(荷物用)		守谷輸送機工業	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	自動ドア点検		神奈川ナブコ	4	6・9・12・3月			○			○			○			○			
	電話交換機点検		三和通信	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	監視カメラ点検		通信設備エンジニアリング	1	12月									○						
	舞台音響映像設備保守点検		システムエンジニアリング	2	7・1月				○						○					
	音響測定		システムエンジニアリング	2	7・1月				○						○					
	舞台吊物機構設備保守点検		橋田舞台設備	3	7・11・3月				○				○				○			
	ホール舞台照明設備保守点検		東芝エルティールエンジニアリング	2	6・12月			○						○						
	ホール座席保守点検		コトブキシーティング	1	11月								○							



## 平成27年度 「緑区民文化センター」 収支予算書及び報告書

収入の部							(税込、単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
指定管理料	113,603,000		113,603,000		113,603,000	横浜市より	
利用料金収入	25,920,000		25,920,000		25,920,000		
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	0		0		0		
自主事業収入	5,395,000		5,395,000		5,395,000		
雑入	130,000	0	130,000	0	130,000		
印刷代					0		
自動販売機手数料					0		
駐車場利用料金収入					0		
その他 (物品販売、自販機電気代等)	130,000		130,000		130,000		
<b>収入合計</b>	<b>145,048,000</b>	<b>0</b>	<b>145,048,000</b>	<b>0</b>	<b>145,048,000</b>		
支出の部							
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
<b>人件費</b>	<b>71,403,000</b>	<b>0</b>	<b>71,403,000</b>	<b>0</b>	<b>39,575,000</b>		
給与・賃金	32,910,000		32,910,000		32,910,000		
社会保険料	4,980,000		4,980,000		4,980,000		
通勤手当	1,685,000		1,685,000		1,685,000		
退職給付引当金繰入額	816,000		816,000		816,000		
舞台技術他	31,012,000		31,012,000		31,012,000		
<b>事務費</b>	<b>6,456,000</b>	<b>0</b>	<b>6,360,000</b>	<b>0</b>	<b>4,063,000</b>		
旅費	189,000		189,000		189,000		
仕入費	0		0		0		
材料費	376,000		376,000				
消耗品費	1,030,500		1,030,500		1,030,500		
会議滞在費	60,000		60,000		60,000		
交際費	33,000		33,000				
印刷製本費	343,500		343,500		343,500		
諸会費	10,000		10,000				
広告宣伝費	1,878,000		1,878,000				
通信費	474,000		474,000		474,000		
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0		
横浜市への支払分	0		0		0		
その他	0		0		0		
備品購入費	0		0		0		
図書購入費	0		0		0		
施設賠償責任保険	1,183,000		1,183,000		1,183,000		
職員等研修費	26,000		26,000		26,000		
振込手数料	1,000		1,000		1,000		
諸使用料	350,000		350,000		350,000		
リース料	376,000		376,000		376,000		
手数料	30,000		30,000		30,000		
地域協力費	0		0		0		
雑費	24,000		0				
その他	72,000		0				
<b>事業費</b>	<b>15,476,000</b>	<b>0</b>	<b>15,476,000</b>	<b>0</b>	<b>15,476,000</b>		
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	0		0		0		
自主事業費	15,476,000		15,476,000		15,476,000		
<b>管理費</b>	<b>48,383,000</b>	<b>0</b>	<b>48,383,000</b>	<b>0</b>	<b>47,977,000</b>		
光熱水費	15,942,000	0	15,942,000		15,942,000		
電気料金	11,730,000		11,730,000		11,730,000		
ガス料金	3,158,000		3,158,000		3,158,000		
水道料金	1,054,000		1,054,000		1,054,000		
清掃費	7,535,000		7,535,000		7,535,000		
修繕費	0		0		0		
機械整備費	389,000		389,000		389,000		
設備保全費	15,698,000	0	15,698,000	0	15,292,000		
消防設備点検費	0		0		0		
中央監視装置保守	734,000		734,000		734,000		
空調自動制御保守	845,000		845,000		845,000		
空調衛生設備保守	2,348,000		2,348,000		2,348,000		
エレベーター(兼用)保守	1,011,000		1,011,000		1,011,000		
エレベーター(荷物用)保守	985,000		985,000		985,000		
自動ドア保守	519,000		519,000		519,000		
シャッター保守	232,000		232,000		232,000		
電気設備保守	603,000		603,000		603,000		
自家発電機保守	368,000		368,000		368,000		
電話交換機保守	778,000		778,000		778,000		
監視カメラ点検	386,000		386,000		386,000		
非常用放送設備	0		0		0		
舞台音響映像設備保守	1,562,000		1,562,000		1,562,000		
音響測定	1,484,000		1,484,000		1,484,000		
舞台吊物機構設備保守	1,469,000		1,469,000		1,469,000		
ホール舞台照明設備保守	1,286,000		1,286,000		1,286,000		
ピアノ保守管理	238,000		238,000		238,000		
ピアノ調律	87,000		87,000		87,000		
衛生管理費(空気環境測定等)	195,000		195,000		195,000		
害虫防除費	162,000		162,000		162,000		
植栽管理	0		0		0		
設備総合巡視点検	195,000		195,000		195,000		
その他	211,000		211,000		211,000		
共益費	8,819,000		8,819,000		8,819,000		
<b>公租公課</b>	<b>3,290,000</b>	<b>0</b>	<b>3,290,000</b>	<b>0</b>	<b>3,290,000</b>		
事業所税	81,000		81,000		81,000		
消費税	3,207,000		3,207,000		3,207,000		
印紙税	2,000		2,000		2,000		
その他 ( )	0		0		0		
<b>事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)</b>	<b>40,000</b>	<b>0</b>	<b>40,000</b>	<b>0</b>	<b>40,000</b>	売上の0.027%	
本部分	40,000		40,000		40,000		
当該施設分			0		0		
二一ス対応費	0		0		0		
<b>支出合計</b>	<b>144,952,000</b>	<b>0</b>	<b>144,952,000</b>	<b>0</b>	<b>110,421,000</b>		
差引	0	0	96,000	0	34,627,000		
自主事業費収入				0			
自主事業費支出				0			
自主事業収支				0			
管理許可・目的外使用許可収入				0			
管理許可・目的外使用許可支出				0			
管理許可・目的外使用許可収支				0			